

橋本良さん

広島大学大学院 人間社会科学研究科

2018 年度 4 次隊 青年海外協力隊

派遣国：ネパール 職種：行政サービス

2021 年 5 月 23 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 活動断念 思いを研究に

国際協力機構（JICA）協力隊として 2019 年 4 月から、ネパールのポカラ市役所で行政サービスのサポートをした。女性の地位向上が目的である。ジェンダーによる差別や就労問題など多くの女性が厳しい社会環境に置かれている。このプログラムは、女性の能力や権限の拡大を通じて女性の社会問題の解決を図るもので、私は行政と連携し、女性グループの作る商品の販売促進やグループの運営補助に取り組んだ。

活動当初は、私が外国人でかつ異性であるため、活動先の女性たちとも隔たり

があった。女性たちと同じ目線に立つために私自身も一緒に洋裁の訓練を受け、地域行事などに参加することで徐々に関係を築いた。約 1 年がたち、女性たちとの活動も本格的に進み始めたところで新型コロナウイルスの影響により急きょ、帰国を余儀なくされた。協力隊での活動も中断が決まり途方に暮れたが、ネパールへの思いは日に日に増すばかりだった。

ネパールとつながりを持つ方法を模索する中、フィールドワークを通じ現地の人々と「共生」し研究する文化人類学という学問分野に興味を持った。20 年 10 月、広島大大学院人間社会科学研究科に入学し、協力隊での活動の延長線上であるネパールの女性に焦点を置いた研究を始めた。今は指導教員の「研究を通じてネパールの人々の力になることができる」という言葉を胸に、協力隊での経験を学術的に考察するため研究に励んでいる。



サポートをする女性と談笑する筆者（左端）